

株式会社山梅

建設業／群馬県

TSR：企業コード 27-009534-9 所在地：〒373-0024 群馬県太田市上小林町226

TEL：0276-22-8551 URL：https://yamaume.co.jp/

事業内容：造園工事・樹木生産・緑地メンテナンス・県営公園運営管理



優良企業
ガイドは
P000 へ！



代表取締役社長 山田 通明 (やまだ みちあき)

Profile 1970年3月生まれ。51歳。大学在学中に初めてアメリカへの一人旅を決行、当時世界一といわれた造園会社を視察し、造園業の面白さに開眼。卒業後、父の経営する弊社に入社。2015年代表取締役社長に就任。

一問一答

御社のNo.1は？

若い社員が多いことです。斬新な発想で有意義な提案をすると同時に、新しいことを積極的に吸収するので将来が楽しみです。

座右の銘、社訓は？

「泰然自若」です。社長が自らを磨いて自信を持ち、悠然と構えることで社員も安心できると思います。

趣味、休日の過ごし方は？

ゴルフを楽しんでいます。これまではお付き合いが多かったのですが、練習してスコアが上がり、積極的に行くようになりました。

「緑」で地球環境を守る企業に

弊社は、創業者である祖父が植木を「市（いち）」で販売したことに始まり、2代目の父が造園事業に参入して、業容の拡大を図りました。私は2015年に3代目社長に就任し、「～Greendiversity® 緑の多様性～」というスローガンを掲げています。これは、「地球環境を良くする」という考え方をベースに、スローガンにある「緑」に関わるすべての分野について事業を行い、社会に貢献していきたい想いを表したものです。

一般的に、造園業は建物外周の植栽・造園工事が事業の対象ですが、弊社はこれらに加えてロビーやホール、室内などの屋内にも緑化を進めていく取り組みを始めました。また、植木を「植える」「管理する」だけでなく、「触れる」「遊ぶ」「楽しむ」といった要素を提案していくことも考えています。2021年に迎えた創業80周年を記念して、社員が集い、語り合い、アイデアを出し合う場所として本社敷地内につくった「森の語り場(in yamaume viewing platform)」は、こうした提案のひとつです。

Greendiversity®を表す事業群

現在、弊社が行っている主な事業は造園土木の分野です。主に、国や自治体を持つ公園の植栽や、マンション、商業施設の緑化部分の造成を請け負っています。国の公園では植栽だけではなく、トイレ・遊歩道・遊具といった施設全体の施工も任されています。マンションや商業施設では、植栽・造園工事とその後のメンテナンスをセットで受注します。樹木は生き物ですから成長しますし、病気になることもあります。完成した植栽を常に美しい状態に保つためにメンテナンスは必須項目なのです。

弊社では造園工事を単に請け負うだけでなく、プランニングや完成した緑地・公園のメンテナンス、使用する樹木の生産まで一貫して行っていることが強みになっています。これらの業務と、「ぐんまこども

の国(群馬県立金山総合公園)」の運営・管理業務が、「～Greendiversity® 緑の多様性～」を構成する事業群になっています。

若い社員が活躍できる職場環境

弊社には、造園・植栽現場や営業などで、外回りをする社員が多数います。その労働環境を整えるために、早い時期からオフィスのフリーアドレス化や、業務の連絡・打ち合わせのオンライン化などを進めてきました。そこからオフィス環境の改善には室内緑化が有効だと考え、事業化をめざして取り組みを開始しました。このほかにも建物自体の緑化や太陽光発電なども事業化し、既存のお客様に新しいサービスとして提案していきたいと考えています。

新しい取り組みには柔軟な発想を持つ若い力が必要になります。弊社ではこれまでのリアルで経験するインターンシップに加えて、動画を使用したオンライン方式も取り入れました。臨場感を持ってもらうために、現場からの生中継や社員の自己紹介も行う予定です。

弊社は若い社員に仕事を任せ、提案も積極的に取り入れています。インターンシップの動画で使用するイラストや会社のホームページ、オフィス緑化のレイアウトなど、すべてアイデアを出し合って実行しています。新しいことへの前向きな取り組みが次の事業へとつながっています。



職場の風通しが良い、明るい雰囲気、社風が自慢です。背景にある「森の語り場」は、創業80周年を記念してつくりました。

創業80周年を迎えて 緑の多様性をめざす

